

おおの自治協だより

発行：大野地区自治協議会（大野地区公民館内）

佐世保市田原町 13-29 ☎49-6589



『ひとよし まちよし 明るい大野』

「大野自治協まつり」が開催されました

11月8日（日）「大野自治協まつり」が盛大に開催されました。平成25年度から、自治協まつりに名称を変え、今年で通算42回を迎えました。

まつり会場の「ふれあい広場」では、うどん、おでんなどの軽食類や海産物や農産物など、毎年おなじみの店が出店され、ご来場の皆さんもご満足の様子でした。さらに体育室の「おまつり広場」では、詩吟、社交ダンス、太極拳など公民館で活動されている成果を元気いっぱい披露して頂きました。本館講座室の「文化の広場」では、パッチワーク、書道、俳句、生け花などの公民館サークルの皆さんの活動作品や地域の皆さんの作品が発表されました。



自治協まつり実行委員の皆さん、出店（展）、出演の皆さん、そしてご来場頂いた多くの地域の皆様のご協力により「大野自治協まつり」を盛大に開催することができました。

大野地区自治協議会では、今後ともこのような地域一体となった取組みを進めてまいります。皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



大野地区自治協議会 今後の事業予定

- 12月 8日（火） 自治協議会理事会 大野地区公民館第1講座室
- 12月13日（日） 女性部 友愛セール 大野地区公民館3階講堂
- 1月 8日（金） 新年のつどい 大野地区公民館3階講堂



「地域コミュニティ」について考えてみよう

「地域コミュニティ」ってなに？

日常生活のふれあいや共同の活動、共通の経験を通して生み出されるお互いの連帯感や共同意識と信頼関係を築きながら、自らの地域を地域住民みんなの力で自主的に住みやすくしていく。そうした地域社会のことです。

大野地区には、町内会や子供会、老人会、青少年健全育成会、民生委員児童委員会、青壮年会、婦人会、消防団、PTAなどの活動団体があります。



今、なぜ地域コミュニティなの？

① 地域コミュニティ力の低下

社会情勢の変化に伴い、かつて存在した相互扶助の精神や共同的な秩序、地域の連帯感が低下しており、生活の個人化がより一層進んでいます。結果、地域のコミュニティ力は低下し、人間関係の希薄化や地域活動に対する無関心化が進行しており、こうしたことが、育児や教育に悩む親の増加や、独居老人の孤独死といった様々な課題を作り出しています。

② 厳しい財政事情

人口減少に伴う歳入減少、医療・介護や年金などの社会保障費の増大など厳しい財政事情のもと、これまでのように全てのサービスを市が一手に担うことは困難な状況となってきます。自らの地域のことは、地域自らが考え行動することが求められてきます。

③ 複雑多様化する住民ニーズへの対応

複雑で多様化する住民ニーズに対応するためには、今までのような行政主導で画一的な手法では無理があります。地域の抱える課題は、その地域によって多種多様であり、特に地域に密着した課題は市だけで解決できるものではありません。地域に必要なサービスを、住民と地域、市が連携を取りながら、それぞれの役割を持った協働のまちづくりが必要となっています。

佐世保市地域コミュニティ推進計画

社会情勢の大きな変化、厳しい財政事情、複雑多様化する住民ニーズへの対応などの課題解消に向け、佐世保市は、第6次総合計画後期基本計画の重点プロジェクトの一つとして「地域の絆プロジェクト」を位置づけ、町内会の活性化など地域コミュニティ活性化に向け「地域コミュニティ推進事業」を推進し、その推進指針のなかでモデル事業を実施することとして大野地区自治協議会がスタートしました。

① 大野地区自治協議会

大野地区自治協議会は、地域が一体となって地域諸課題に対処するとともに、豊かで活力ある地域コミュニティを実現していくための推進母体とするため、地域を代表する新たな市民団体として設立されました。

大野地区自治協議会は7つの部会があり、大野地区町内公民館連合会など25団体が参加しています。部会会議や理事会を設けて、部会や各団体の情報共有化など効率的な地域活動を展開できる仕組みを作っています。

② 地域コミュニティ計画(まちづくりの指針)

地域の課題を地域住民みんなが共有し、この課題解決のための将来ビジョンとして、「大野地区まちづくりの指針」を策定しました。指針では、三つのまちづくりの目標と五つの活動指針を示しています。

スロガッ「ひとよし まちよし 明るい大野」

